

中部更新統浜松累層産ナウマンゾウ切歯片化石



切歯片

産地：浜松市佐浜町佐浜 ナウマンゾウ模式標本産出地

層準：浜松累層佐浜泥部層

産出年：1921年

保管場所：浜松市立伊佐見小学校 清水みのるの部屋

記載事項：小さな切歯片である

【計測値】 残存長 84mm

残存幅 66mm

残存厚 22-19mm

備考：野嶋ほか（2003）で「露頭①標本D」とされた標本，本標本及び浜松市立伊佐見公民館保管の標本，高橋（1980）が口頭発表した京都大学保管の体化石は，Makiyama（1924）が記載した模式標本と共に発見されたもので，（野嶋ほか，2003），模式標本の一部の可能性がある。

寄贈者：古橋みえ子（古橋 瞬の祖母）